

じしゅうほっすげいか

来年の6月8日(土)に、時宗総本山より時宗法主猊下がこの神戸の地に約半世紀ぶりにご親教に来ていただけます。この一年間は、その法要で行われる行事・ご回向のご説明を掲載致します。まず今回は、授戒会(じゅかいえ)です。

授戒会(じゅかいえ)のすすめ

1、釈尊(しゃくそん)最後の教えと戒(かい)の意味

お釈迦さまはお亡くなりになるとき、お弟子たちに最後の説法をなさいました。その説法のはじめに、「私の入滅(にゆうめつ)後(死後)は、何よりも『戒法(かいほう)』を敬い尊ぶ生き方をしなさい。そうすれば、人生は明るく、心豊かに暮らせるのだ」と示されました。

『戒』は、深い信仰に根ざした生活を送ろうという決意をうながす教えであり、『戒』を授かることによって「無益な殺生などはとうていできない(不殺生・ふせつしょう)」「人に対して嘘はつけない(不妄語・ふもうご)」というように、慈悲の心が生活の中で習慣となり、人間として正しい生き方が確立されると説かれます。

2、戒師(かいし)とお血脈(けちみやく)

戒を授ける人を『戒師(かいし)さま』といい、戒法を受ける方々を『戒弟(かいてい)』といいます。そして、戒法を受けた証(あかし)として、『お血脈(おけちみやく)』を頂戴します。



3、授戒(じゅかい)のすすめ

戒を受けるといことは、お釈迦さまのお弟子となり、眞の仏教徒としての自覚を持つ(たもち)、仏心の花を開くことであります。聞法(もんぼう)と礼拝(らいはい)を通じて、必ずや法(仏の教え)のお徳がみなさまの身と心を満たすことと確信いたします。

一人でも多くの人々が仏心(ぶつしん)・仏性(ぶつしょう)に目覚めるための「授戒会」に縁を結ばれますよう、切にお勧め申し上げます。(裏面に続く)

■ ご親教授戒会を申し込まれる方には、以下のお印をお授け致します

- ・時宗総本山より『お血脈』・仏壇用『名号』を授かります。
- ・戒師である遊行上人より、生前戒名（阿号・弔号）を授かります。
註）生前戒名を現在お持ちの方も、今回の授戒会を受けることができます。
- ・普照院より、浄衣を授与します。
- ・ご親教を記念して作成する普照院本尊須弥壇に、授戒者名を記入します。

●先月ご親教の案内を送付させていただいた際に、何名かの方に「寄付が必要なのではないでしょうか？」というご連絡をいただきました。当寺院では、今後もお寺より檀信徒の皆様へ一律のご寄付を依頼することはありません。このご親教のような行事などで、お寺へ足をお運びいただくことが何よりの「布施」だと住職は考えております。

（*申し込みの詳細は、本年 11 月頃に送付させていただきます。）

熊野本宮正遷座 120 年 3 霊場合同「鎮魂と再生の祈り」

本年は、旧熊野本宮大社が明治 22 年の大洪水で移転を余儀なくされてから 120 年という節目の年でした。時宗は熊野大社とは縁が深く、立教開宗の地でもあります。そのようなことから 5 月 27 日に行われました時宗・熊野本宮・修験宗 3 宗派による明治 22 年ならびに平成 23 年豪雨犠牲者の鎮魂・地域再生祈願法要に参加してまいりました。機会がございましたら、是非一度熊野大社（和歌山県田辺市）へお参り下さい。（写真：旧社地名号碑前 後列真ん中が、私です。）



〔編集後記〕

今年もお盆の時期が巡ってまいりました。今年はその暑さ対策だけでなく、関西地区では停電に対しても対策を練らねばなりません。お寺でも住職居住区では色々不便なことが予想されますが、本堂では対策する箇所が全くありませんでした。明かりは普段からロウソクを使用していますので、法事等があっても暑いことを我慢すれば何も問題ありません。東北の震災では、お寺が避難所になった所が沢山あったそうですが、「なるほどお寺ってすごいなあ」と感じた住職でした。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院]

責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町 4 - 1 - 29

電話・ファックス 078 - 671 - 1787

ホームページ <http://fusyojin.com/>



ぜひ、お寺のホームページもご覧ください。

特に次世代をになう、若い方々・お子様たちにも教えてあげてください。